



2022年4月8日

各 位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 神尾 啓 治
社長 執行役員
(コード番号：8198 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 齋藤 論
(TEL. 053-421-7000)

当社の親会社 イ オ ン 株 式 会 社
代表者名 取締役 兼 代表執行役社長 吉田 昭 夫
(コード番号：8267 東証プライム市場)

通期連結業績予想と実績値との差異及び通期個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2021年11月12日に公表しました2022年2月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたこと、及び2022年2月期の個別業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績値との差異について

(1) 2022年2月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2021年3月1日～2022年2月28日)
(金額の単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	351,000	10,000	10,000	5,700	157円00銭
当期実績 (B)	354,907	11,296	11,227	7,595	210円53銭
増減額 (B-A)	3,907	1,296	1,227	1,895	
増減率 (%)	1.1	13.0	12.3	33.3	
(ご参考) 前期通期実績 (2021年2月期)	355,904	11,726	11,744	5,302	146円07銭

(2) 差異の理由

新型コロナウイルス感染症影響が想定よりも継続し、内食需要の高まりが継続し、既存店舗が計画より改善したことにより、営業収益、営業利益、経常利益は前回発表予想数値を上回り、加えて、減損損失の計上が予想を下回ったため、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表数値を上回りました。

2. 通期個別業績と前期実績値との差異について

(1) 2022年2月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(金額の単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	350,343	11,935	11,993	5,091	140円25銭
当期実績 (B)	350,390	11,453	11,362	7,323	203円00銭
増減額 (B-A)	46	△481	△631	2,232	
増減率 (%)	0.0	△4.0	△5.3	43.8	

(2) 差異の理由

特別損失が前期より減少したこと及び清算業務を進めている連結子会社イオンマックスバリュ（江蘇）商業有限公司に対する出資金評価損に税効果を認識したこと、また所得拡大促進税制の適用等により、当期純利益は前期を上回りました。

以上